

第145回(令和8年7月)情報処理技能検定試験(データベース)4級問題

<問題>

- 各テキストデータ（日本語シフトJIS、CSV形式）を使用して<テーブル定義>を基にテーブルを作成し、<処理条件>に従って<出力例>のような表を完成し、印刷しなさい。
文字は左揃え、数値は桁揃えとし、3桁ごとにコンマをつけること。
- テキストデータはDB4フォルダー内のデータを使用する。
- 試験時間は20分とする。ただし、印刷は試験時間外とする。

<テーブル定義>

商品マスタ

KEY	項目名	データ型	データ例
○	商品ＣＯ	長整数型	1
	商品名	テキスト型	メロンミルクあめ
	区分	テキスト型	菓子
	単価	長整数型	198

仕入テーブル

KEY	項目名	データ型	データ例
○	商品ＣＯ	長整数型	1
	仕入数	長整数型	120

※商品マスタ.csvの1行目は項目名とする。

<処理条件>

仕入数が140以上の商品別仕入一覧表を作成する。

- それぞれの商品ＣＯを関連付けしなさい。
<出力例>のとおり、それぞれの項目を選択しなさい。

仕入数が140以上を抽出しなさい。

[処理結果件数：6件]

- 表を作成しなさい。
表題は“商品別仕入一覧表（仕入数140以上）”とする。
データの並び順は仕入数の降順とする。
単価は通貨表示とし、表の形式は<出力例>のとおりとする。

<出力例>

商品別仕入一覧表（仕入数140以上）			
商品ＣＯ	商品名	単価	仕入数
75	レモン炭酸水	¥98	176
}			
71	甘酒ストレート	¥128	140

第 1 4 5 回(令和 8 年 7 月)情報処理技能検定試験(データベース) 3 級問題

<問 題>

- 各テキストデータ（日本語シフト J I S、C S V 形式）を使用して<テーブル定義>を基にテーブルを作成し、<処理条件>に従って<出力例>のような表を完成し、印刷しなさい。
文字は左揃え、数値は桁揃えとし、3 桁ごとにコンマをつけること。
- テキストデータは DB3 フォルダ内のデータを使用する。
- 試験時間は 3 0 分とする。ただし、印刷は試験時間外とする。

<テーブル定義>

生徒マスタ

KEY	項目名	データ型	データ例
○	生徒 C O	長整数型	1001
	名前	テキスト型	秋山 直樹
	生年月日	日付/時刻型	2010/3/8
	連絡先	テキスト型	080-1111-XXXX

試験テーブル

KEY	項目名	データ型	データ例
○	生徒 C O	長整数型	1001
	国語	長整数型	65
	数学	長整数型	75
	情報	長整数型	59

※生徒マスタ.csv の 1 行目は項目名とする。

<処理条件>

情報が 8 0 点以上で合計が 2 0 0 点以上の試験結果一覧表を作成する。

- それぞれの生徒 C O を関連付けしなさい。

生徒 C O ごとに合計を求めなさい。 合計＝国語＋数学＋情報

情報が 80 以上かつ合計が 200 以上を抽出しなさい。

[処理結果件数：6 件]

- 名前をカウントした表を作成しなさい。

表題は“試験結果一覧表（情報 8 0 点以上・合計 2 0 0 点以上）”とする。

データの並び順は情報の降順とし、表の形式は<出力例>のとおりとする。

<出力例>

試験結果一覧表（情報 8 0 点以上・合計 2 0 0 点以上）					
生徒 C O	名前	国語	数学	情報	合計
1002	浅野 美月	52	72	100	224
		}			
1019	北村 雄大	100	94	80	274
X 人					

第145回(令和8年7月)情報処理技能検定試験(データベース)2級問題

<問題>

- 各テキストデータ（日本語シフトJIS、CSV形式）を使用して<テーブル定義>を基にテーブルを作成し、<処理条件>に従って<出力例>のような表を完成し、印刷しなさい。
文字は左揃え、数値は桁揃えとし、3桁ごとにコンマをつけること。
- テキストデータはDB2フォルダー内のデータを使用する。
- 試験時間は30分とする。ただし、印刷は試験時間外とする。

<テーブル定義>

資格マスタ

KEY	項目名	データ型	データ例
○	資格CO	長整数型	1
	資格名	テキスト型	ライフログプランナー

※資格マスタ.csvの1行目は項目名とする。

累積結果テーブル

KEY	項目名	データ型	データ例
○	生徒CO	長整数型	101
○	受験日	日付/時刻型	2025/6/30
○	資格CO	長整数型	1
	受験級	長整数型	3
	可否	長整数型	1

結果テーブル

KEY	項目名	データ型	データ例
○	生徒CO	長整数型	101
○	受験日	日付/時刻型	2026/2/16
○	資格CO	長整数型	4
	受験級	長整数型	1
	可否	長整数型	0

<処理条件>

- 今回の受験結果を追加し、1級合格者が2名以上の資格取得人数一覧表を作成する。
 - <結果テーブル>のすべてのレコードを<累積結果テーブル>に追加しなさい。
[追加件数：35件]
 - <累積結果テーブル>・<資格マスタ>の資格COを関連付けしなさい。
受験級が1かつ可否が1を抽出しなさい。
[処理結果件数：24件]
 - 資格CO・資格名ごとに生徒COを集計（カウント）しなさい。
生徒COの集計は“取得人数”とする。
取得人数が2以上を抽出しなさい。
[処理結果件数：6件]
 - 資格名をカウントした表を作成しなさい。
表題は“取得人数一覧表（1級2名以上）”とする。
データの並び順は取得人数の降順で資格COの昇順とし、表の形式は<出力例>のとおりとする。

<出力例>

取得人数一覧表（1級2名以上）		
資格CO	資格名	取得人数
1	ライフログプランナー	6
	}	
6	週末ガーデン実践認定	2
資格数	X	

第145回(令和8年7月)情報処理技能検定試験(データベース) 1級問題

<問題>

- 各テキストデータ（日本語シフトJIS、CSV形式）を使用して<テーブル定義>を基にテーブルを作成し、<処理フロー>および<処理条件>に従って<出力例>のような表を完成し、印刷しなさい。
文字は左揃え、数値は桁揃えとし、3桁ごとにコンマをつけること。
- テキストデータはDB1フォルダー内のデータを使用する。
- 試験時間は30分とする。ただし、印刷は試験時間外とする。

<テーブル定義>

会員マスタ

KEY	項目名	データ型	データ例
○	会員CO	長整数型	101
	会員名	テキスト型	井上 直人
	地域CO	長整数型	40

※会員マスタ.csvの1行目は項目名とする。

地域マスタ

KEY	項目名	データ型	データ例
○	地域CO	長整数型	10
	地域	テキスト型	北海道

※地域マスタ.csvの1行目は項目名とする。

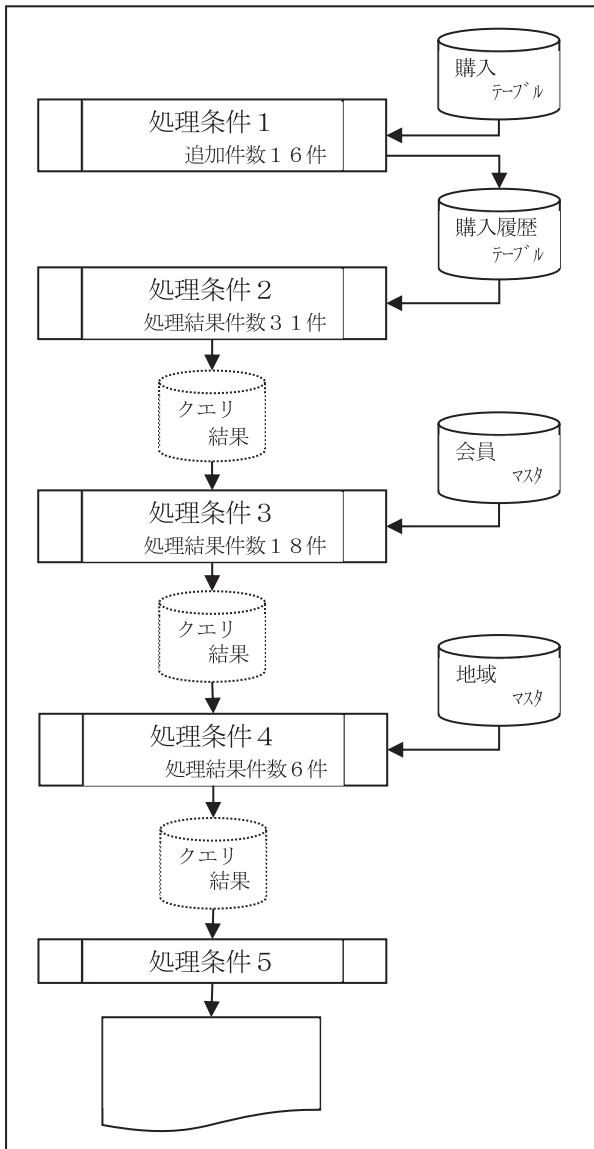
購入テーブル

KEY	項目名	データ型	データ例
○	会員CO	長整数型	101
○	購入日	日付/時刻型	2026/2/17
	金額	長整数型	2800

購入履歴テーブル

KEY	項目名	データ型	データ例
○	会員CO	長整数型	101
○	購入日	日付/時刻型	2025/5/6
	金額	長整数型	2700

<処理フロー>



<処理条件>

2025年11月以降、何も購入していない会員の数をカウントした地域別一覧表を作成する。

- すべてのレコードを<購入履歴テーブル>に追加する。
- 購入日が2025/11/1以降を抽出する。
- <会員マスタ>を基準に会員COを比較し、一致しないデータを抽出する。
- 地域CO・地域ごとに会員COを集計（カウント）する。
会員COの集計は“会員数”とする。
- 会員数の合計を求めた表を作成する。
表題は“地域別未購入会員数一覧表（11月以降）”とする。
データの並び順は会員数の降順で地域COの昇順とし、表の形式は<出力例>のとおりとする。

<出力例>

地域別未購入会員数一覧表（11月以降）		
地域CO	地域	会員数
40	中部	4
	}	
80	九州	1
	合計	XX